

■■■ お知らせ ■■■

ご紹介の際は、紹介状(診療情報提供書)をご用意頂き、事前のご予約をお願い致します。

医療機関からの診察・検査連携のご予約(地域連携直通)

TEL 047-458-6543 FAX 047-458-6545

受付時間 平日 9:00~17:00・土曜日 9:00~13:00
 ※日曜、祝日、第3土曜日、創立記念日(12/5)、年末年始(12/30~1/4)はお取扱しておりません。
 ※時間外の場合はFAXを送信して下さい。翌受付時間内にご連絡させていただきます。
 ※予約日時・医師等の変更を希望される場合は前日までにご連絡下さい。

医療連携マネージャー(医師)

緊急を要する当日(日中)のご紹介は、紹介診療科が定まっている場合は従来通り当該診療科の医師が対応します。担当診療科の特定がしにくい場合は、「医療連携マネージャー」が電話対応をさせていただきます。ご対応は地域連携直通電話の受付時間内とさせていただきます。

検査連携(医療機関から申込)

検査連携のご依頼は地域連携直通電話の受付時間内とさせていただきます。
 応需検査: CT、MRI(単純)、RI、XP、マンモグラフィ、骨密度測定、セファロの画像検査

患者さんからの診察のご予約(予約センター)

TEL 047-458-6600

受付時間 平日 9:00~16:00・土曜日 9:00~11:30
 ※日曜、祝日、第3土曜日、創立記念日(12/5)、年末年始(12/30~1/4)はお取扱しておりません。
 ※予約日時・医師等の変更を希望される場合は前日までにご連絡下さい。

やちよ夜間小児急病センター(中学3年生までの小児対象)

TEL 047-458-6090

受付時間 毎日 18:00~23:00
 医療相談は行っておりません。ご予約の必要はありません。受付時間内に直接ご来院下さい。

地域医療連携フォーラム開催決定

「平成29年度東京女子医科大学八千代医療センター地域医療連携フォーラム」を下記の通り開催する運びとなりました。詳細につきましては、後日改めてご案内させていただきます。
 日頃より大変お世話になっております八千代市医師会及び歯科医師会をはじめ、近隣の医師会、歯科医師会、薬剤師会、地域医療支援病院における連携登録医の先生方、メディカルスタッフ、行政機関の皆様を含め、ご多忙と存じますが、多くの皆様にご出席賜りたく、お願い申し上げます。

「平成29年度東京女子医科大学八千代医療センター地域医療連携フォーラム」
 日時: 平成30年2月10日(土) 17:00~20:00(受付開始16:30)
 会場: ウィンストンホテル・ユウカリ(千葉県佐倉市ユウカリが丘4-8-1)
 内容: 第1部 講演会「平成30年度診療報酬改定と地域医療連携」
 講師 公益社団法人全日本病院協会 副会長 神野 正博 先生
 第2部 意見交換会・懇親会

2017.11
発行

第19号

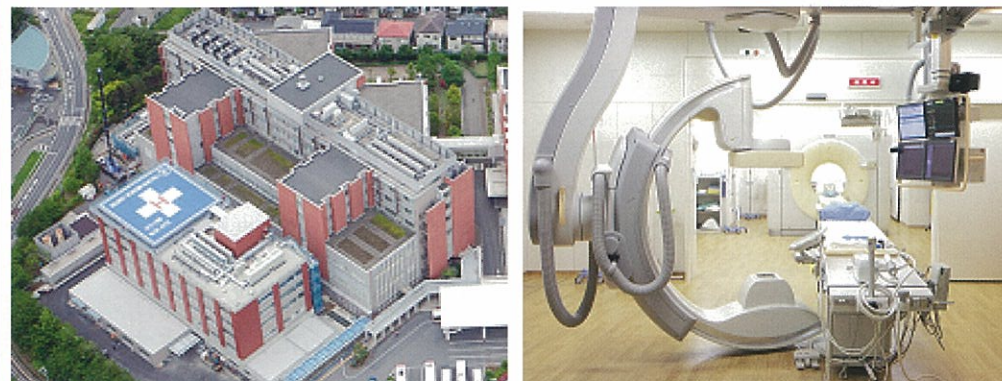
東京女子医科大学 八千代医療センター 医療支援ニュース



理念: 地域社会に信頼される病院としての心温まる医療と急性期・高機能・先進医療との調和

～ 基本方針 ～

- ・本学の理念である「至誠と愛」に基づき、皆さまに信頼される病院を目指します。
- ・患者さんのプライバシーを守り、一人ひとりの権利を尊重します。
- ・つねに最先端の医療技術と知識を用いて、安全で良質な医療を提供します。
- ・患者さんに合った最善のチーム医療を行います。
- ・中核病院として地域の診療所・病院等との連携を推進し皆さまの健康を維持・増進します。



日頃は八千代医療センターの運営にご協力頂き、誠に感謝申し上げます。
 さて、医師会の先生方から当センターの医療連携システムについて、ご不便をお掛けし、数々のご指摘を頂いていたところでした。その中に、担当診療科の特定がしにくい患者様への対応の課題がありました。
 この課題の解決に向けて、平成29年8月から「医療連携マネージャー」制度を新設し、スムーズな医療連携を目指すこととなりました。具体的には医師会および紹介医療機関からの患者紹介に関し、これまでのように紹介される診療科が決定している患者様は、従来通り当該診療科の担当医師に担当して頂きますが、担当診療科の特定がしにくい患者様に関しては、新たに任命した医療連携マネージャーが、先生方と電話で直接対応し、担当する担当科・医師を決定する仕組みを作りました。現在、医療連携マネージャー4名(内、2名は医療連携サブマネージャー)を任命し、役割を担っております。
 運用につきましては、既にご案内しておりますが、本紙面内にて医療連携マネージャーのご紹介と併せてさせていただきます。
 今回の医療連携マネージャー制度の新設に伴い、医療機関専用予約直通電話の受付時間の変更(延長)もしております。今後更に医療連携の向上に努めていく所存です。
 また、平成29年3月末に常勤医が退職し、ご不便ご迷惑をお掛けしておりました放射線科(画像診断・IVR科)につきましては、平成29年10月に常勤医が着任しました。常勤医不在の間、IVR科の診療、画像連携(CT、MRI検査)に関しまして、体制を縮小して継続して参りましたが、順次、従前の体制に戻して参りますので、宜しく願い致します。新任医師のご紹介は本紙面内にてさせていただきます。

平成29年11月

病院長 新井田 達雄

医療連携マネージャーの創設とご挨拶



医療連携マネージャー
西野 隆義



医療連携マネージャー
大沼 裕

このたび糖尿病・内分泌代謝内科の大沼裕医師と私、消化器内科の西野隆義が八千代医療センターに新しく創設されました医療連携マネージャーとして任命を受けました。また、糖尿病・内分泌代謝内科の荻野淳医師と米田千裕医師にも医療連携サブマネージャーとして医療連携のお手伝いをさせていただきます。どうぞよろしくお願いたします。

医療連携マネージャーの創設

このたび、八千代医療センターでは、医療連携をより綿密に遂行するために、医療連携マネージャーを創設いたしました。これまで、地域の医療機関より特に緊急を要する疾患のご紹介において、当センターの医療支援室地域連携担当にご連絡いただき、当該診療科の担当医と直接お話ししていただく、あるいは地域連携担当が対応にあたってまいりました。ご紹介いただく疾患あるいは担当診療科が明確な場合はこれまでも比較的良好な医療連携がなされていたかと思えます。

しかし、担当診療科が明確でない場合に、当センターの対応が十分でなく、時に厳しいご意見をいただくことも少なくなかったと思えます。そこで、今回、医療連携マネージャーがこの役割を担うことになりました。

医療連携マネージャーの業務

各医療機関におきまして、当センターに紹介する場合に、どこの診療科に紹介してよいか不明確な場合には是非、医療連携マネージャーをご利用いただきたいと存じます。

医療連携マネージャーあるいは医療連携サブマネージャーは月曜日から金曜日までは午前9時から午後5時まで常駐し、土曜日は午前9時から午後1時まで対応いたします。

地域連携担当にご連絡いただき、医療連携マネージャーをご依頼ください。医療連携マネージャーあるいは医療連携サブマネージャーが直接対応させていただきます、患者さんのトリアージを行いますのでご安心ください。

医療連携マネージャーとしての抱負

私ども4人が当センターに新設されました医療連携マネージャーとして、地域の医療機関と医療連携がよりスムーズに構築されるように精一杯丁寧に対応させていただきたいと考えております。緊急性が高く、徴候があるがどの診療科が対応するのか判断に迷う場合には是非、医療連携マネージャーをご利用いただきたいと存じます。医療連携マネージャーあるいはサブマネージャーが、地域の医療機関の医師と直接お話しをして、トリアージをさせていただきます。

当センターも開院11年目を迎えて、多くの医療機関との連携が構築されて参りました。しかし、受診する診療科が不明確な患者さんの受け入れについて、不十分な点が少なくなかったと認識しております。今後は、私ども医療連携マネージャーを是非ご活用いただき、より綿密な医療連携システムの構築を目指して行きたいと思えます。何卒よろしくお願いたします。

医療連携マネージャー 西野 隆義

画像診断・IVR科

平成29年10月に八千代医療センターに赴任し、放射線科（画像診断・IVR科）を担当することになりました。自己紹介をいたします。医師免許を取得したのは初期研修が義務化される前の時代でしたが、自らすすんで市中病院におけるローテーション研修を受けました。その後、大学の放射線科医局には属さず、いくつかの市中基幹病院、国立成育医療センター、国立循環器病研究センター等を経て、最近まで、東北地方の地域基幹病院において、たった一人の常勤放射線科医として勤務していました。現在の八千代医療センターにおいても、常勤放射線科医は新任の私一人だけですが、この状況は私にとって初めてのことでございます。今後、この地域の医療に少しでも貢献できるよう努力する所存です。

当センターは、フラットパネル血管撮影装置3機、64列を含めたCT3機、全身用3テスラを含めたMRI2機、核医学診断装置、マンモトームなど最新の先端機器を装備しています。これらの先端機器を駆使し、地域医療連携の一環として、近隣医療機関の皆様からの依頼検査の御要望にお応えし、迅速に画像診断結果をお返しすることは、私に課せられた重要な使命の一つであると認識しています。画像診断報告書には、今後の診療方針を立てる上で参考になるような記載を心がけています。報告書に関するご質問やお気づきの点がございましたら、いつでもお問い合わせください。

なお、現在は受け入れを見合わせております造影剤を使用したCTおよびMRIの依頼検査につきましては、今後、再開する方向で院内の体制を整備してまいります。ご不便をおかけいたしますが、もうしばらくお待ちくださいますようお願い申し上げます。

血管内治療（経皮的血管形成術、血管奇形や内臓動脈瘤のコイル塞栓術、肝臓がん等の悪性腫瘍に対する動注療法・化学動注塞栓療法、子宮筋腫に対する子宮動脈塞栓術など）および経皮的治療（ラジオ波凝固術、胆道ドレナージ、CTガイド下生検、胆管ステント内挿術）といったIVR治療につきましては、これまで通り行えるよう、私自身も向上心を持って今後も取り組んで参ります。セカンドオピニオンを含めたIVR外来診療を、毎週水曜日の枠で開設いたします。IVR治療の適応がある、もしくは、適応があるかもしれない患者さんの治療について遠慮なくご相談ください。

なお、外傷性出血や危機的産科出血等に対する緊急止血術については、当センター救急科スタッフと緊密な連携をとりながら、休日夜間も含め、できるだけ迅速に対応していきたいと考えています。

どうぞよろしくお願いたします。

科長 杉山 宗弘

